

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 10 月 11 日 (2007.10.11)

【公開番号】特開 2001-132879 (P2001-132879A)
 【公開日】平成 13 年 5 月 18 日 (2001.5.18)
 【出願番号】特願 2000-290161 (P2000-290161)
 【国際特許分類】

F 1 6 L 27/12 (2006.01)

F 1 6 L 23/04 (2006.01)

【F I】

F 1 6 L 27/12 Z

F 1 6 L 23/04

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 29 日 (2007.8.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 互いに向かい合う関係に配置され、それぞれ内側へ向いたフランジを形成された装置部品の間で使用されて、該装置部品の上に液密流路を形成する収縮式スペーサ・パイプであって、

本体と、本体の両端部に配置されて本体をほぼ横断する方向に延在し、組合う装置部品のフランジと係合する形状に形成された一対のフランジ・シールとを有する可撓シール部材と、

それぞれの装置部品のフランジに押当ててフランジ・シールを圧縮するようにフランジ・シールの 1 つと係合する形状にそれぞれ形成された一対のフェルールであって、それぞれがフランジ・シールに係合するロッキング脚とウェッジ部分とを有し、両フェルールがシール部材上の所定位置に位置したときに両フェルールのウェッジ部分が互いに向かい合う関係となる一対のフェルールと、

両フェルールの間に配置され、緊締されたときにフェルールのウェッジ部分と係合して該フェルールを外側へ押圧し、フランジ・シールをそれぞれの装置部品のフランジに対して圧縮するためのテーパ付きクランプとを含んで成る収縮式スペーサ・パイプ。

【請求項 2】 フェルールのウェッジ部分がロッキング脚を横断する方向に延在する脚として形成された請求項 1 に記載の収縮式スペーサ・パイプ。

【請求項 3】 ロッキング脚が溝を形成され、またフランジ・シールが該溝と係合する円周突起を含む請求項 1 に記載の収縮式スペーサ・パイプ。

【請求項 4】 テーパ付きクランプがフェルールのウェッジ部分と係合する一対のブロッキング面を有する請求項 1 に記載の収縮式スペーサ・パイプ。

【請求項 5】 テーパ付きクランプのブロッキング面が所定の角度に形成され、フェルールのウェッジ部分がクランプ面の角度と補完的な角度に形成された請求項 4 に記載の収縮式スペーサ・パイプ。

【請求項 6】 互いに向かい合う関係に配置され、それぞれ内側へ向いたフランジを形成された装置部品の間で使用されて、該装置部品の上に液密流路を形成する収縮式スペーサ・パイプであって、

本体と、本体の両端部に配置されて本体をほぼ横断する方向に延在し、組合う装置部品のフランジと係合する形状に形成された一対のフランジ・シールとを有する可撓シール部

材と、

それぞれの装置部品のフランジに押当ててフランジ・シールを圧縮するようにフランジ・シールの１つと係合する形状にそれぞれ形成されてそれぞれがウェッジ部分を有する一対のフェルールであって、両フェルールがシール部材上の所定位置に位置したときに両フェルールのウェッジ部分が互いに向かい合う関係となる一対のフェルールと、

両フェルールの間に配置され、両フェルールを外方へ押圧してフランジ・シールをそれぞれの装置部品のフランジに押当てて圧縮するような形状に形成されているクランプとを含んで成る収縮式スペーサ・パイプ。

【請求項７】 前記クランプがテーパ付きクランプである請求項６に記載の収縮式スペーサ・パイプ。